

令和3年度事業報告

I 総則

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会定款第4条（事業）に規定する各号（表側）と公益等区分（表頭）に従って、令和3年度に実施した事業を以下のとおり分類した。

（公益区分と定款事業）

公益等区分 定款第4条	第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業	第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業	第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業	第4 普及啓発・活用の事業	第5 収益等その他の事業（収益・共益事業）
1 調査及び 研究の 事業	1 実態調査研究	1 実態調査 2 見学会	1 調査研究 2 見学会 3 他地区協会情報交換会		1 海外研修視察 2 公的助成金等周知 3 要望活動
2 教育及び 訓練の 事業	1 研修・講習会 2 参考書籍・研修教科書の作成	1 講習会 2 参考書籍・研修教科書の作成 3 法改正・関係資料送付	1 研修・講習会 2 保全セミナー 3 参考書籍・講習会資料の作成	1 労働安全研修・講習会	1 労務関係講習 2 労務参考図書作成 3 経営研究セミナー 4 法改正・関係資料送付
3 育成の 事業				1 相談事業 2 採用等支援事業 3 社会貢献事業 4 品質改善事業 5 労働安全衛生推進事業	1 賃金・契約改定状況周知 2 業界概括調査
4 普及啓発と 活用の 事業				1 広報誌発行 2 業界・協会PR活動 3 協会ホームページ充実 4 こども絵画コンクール 5 ビルメンテナンスフェア TOKYO	1 各種広報
5 その他の 目的達成に 必要な 事業	1 関係行政機関等連絡 2 法改正・関係資料送付 3 専門委員派遣	1 関係行政機関等連絡 2 専門委員派遣	1 専門委員派遣		1 文化スポーツ親睦事業 2 防災対策 3 ビルメンテナンス会館管理運営事業 4 広聴活動 5 新年賀詞交歓会 6 表彰事業 7 役員・委員の集い 8 福利厚生事業 9 オリ・パラ支援事業 10 名簿等作成 11 役員候補審査事項 12 協会周年事業

Ⅱ 令和3年度に実施した事業報告

第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

1-1-1 実態調査研究の実施＜建築物衛生管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

次の実態調査研究を実施する。

- (1) ウイルスや汚れにおける清掃状況の「見える化」に関する調査 新規
目に見えないウイルスや汚れを可視化することにより、感染リスクの低減やオーナーへの清掃実績の説明ツールとするため、様々な計測器の活用方法を調査し、報告書を作成する。
- (2) 洗剤や消毒剤に関する事故防止に向けた掲示物の作成 継続
清掃現場における洗剤同士の混合による事故の発生及び手指消毒に危険性を伴う次亜塩素酸ナトリウム水溶液（塩素系漂白剤）の使用に関する注意喚起を図るため、事故防止に向けた掲示物を作成する。

次の調査研究を実施した。

- (1) 目に見えないウイルスや汚れについて計測器を使用し、複数の現場で清掃前後の数値比較を行い、調査結果をまとめた報告書を1,300部作成した。
○計測期間：令和3年7月～10月
○成果物：『清掃状況の「見える化」に関する調査報告書～汚れを数値化する試み～』（A4判36ページ）
- (2) 危険性を伴う洗剤同士の混合や不適切な手指消毒剤を使用しての事故防止を目的とした掲示物を2種類（各1,300部）作成した。

【2 教育及び訓練の事業】

1-2-1 研修・講習会の実施＜建築物衛生管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

清掃作業従事者の技能向上や人材育成及び新しい清掃技法や資機材紹介のため、次の講習会等を実施する。また、併せて講習会等で使用する資機材の整備のほか、指導講師の育成等も実施する。

- (1) 従事者研修

ア 清掃作業従事者研修 Aコース（認定職業訓練 1回12時間）	年6回
イ 清掃作業従事者研修 Bコース（1回7時間）	年2回
ウ 貯水槽清掃作業従事者研修	年1回
エ 建築物ねずみ等防除作業従事者研修	年1回
- (2) 専門講習 縮小 年20回
- (3) セミナー 年1回
- (4) 研修資機材の整備
- (5) 研修会講師の育成等

(1) 従事者研修及び(2) 専門講習

各種清掃技法の習得や清掃技術の向上を目的に、従事者研修や専門講習を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3年度も一部の講習会の中止や人数制限を継続した。コロナ禍前と比べ受講者数が減少している中、受講者数は490名で前年比144名増であった。

講習会の実施状況

区 分	年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
A コース	3年度	6	5	83	36	119	47	26	73
	2年度	6	4	46	38	84	25	28	53
	増減	0	1	37	△2	35	22	△2	20
B コース	3年度	2	1	14	10	24	8	7	15
	2年度	2	1	11	3	14	6	3	9
	増減	0	0	3	7	10	2	4	6
貯水槽清掃作業 従事者研修	3年度	1	1	16	5	21	5	4	9
	2年度	1	0	0	0	0	0	0	0
	増減	0	1	16	5	21	5	4	9
建築物ねずみ等 防除作業従事者 研修	3年度	1	0	0	0	0	0	0	0
	2年度	1	0	0	0	0	0	0	0
	増減	0	0	0	0	0	0	0	0
専門講習	3年度	20	18	258	68	326	163	61	224
	2年度	21	15	159	89	248	115	76	191
	増減	△1	3	99	△21	78	48	△15	33

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画(回)	実施(回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
3年度	30	25	371	119	490	223	98	321
2年度	31	20	216	130	346	146	107	253
増減	△1	5	155	△11	144	77	△9	68

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した講習会は次のとおり。

- 清掃作業従事者研修 Aコース (1回)
- 清掃作業従事者研修 Bコース (1回)
- 建築物ねずみ等防除作業従事者研修 (1回)
- トイレ清掃講習 (1回)
- 外国人従事者育成のための指導者養成講習(1回)

(3) セミナー

洗剤や消毒剤の混合によって起こった事故例や人体への危険性など、情報提供を行うセミナーを実施した。

○開催日：令和3年6月9日(水) ※オンライン配信

○テーマ：コロナ禍における清掃での適切な知識 ～予防対策の事例紹介～

○講 師：第1部 東京医療保健大学大学院 菅原 えりさ 氏

第2部 株式会社ベストハウス 金子 由依 氏

富士フィルムメディカル株式会社 佐野 晃史 氏

第3部 スリーエムジャパン株式会社 辻 ショーン 氏

○参加数：60名

- (4) 研修資機材の整備
各講習会で使用するビニールテープなどの消耗品を購入した。
- (5) 研修会講師の育成等
- ア 協会講師による外部講習会の受講支援
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会で開催している病院清掃受託責任者講習を協会講師が受講した。
- イ 協会講師講習会の開催
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講師向けの講習会を中止した。
- ウ 協会講師専用ユニフォームの製作
協会講師専用ユニフォームを製作した。

1-2-2 参考書籍・研修教科書の作成<障がい者等自立支援委員会>

【令和3年度事業計画】

次のテキスト作成等を実施する。

- (1) 『1から学ぶ清掃マニュアル』を増刷する。
- (2) DVD『障がい者雇用の現場』を作成する。

新規

- (1) 『1から学ぶ清掃マニュアル』1,000部、『よくわかるビルクリーニング技能検定3級』500部を増刷した。
- (2) 障がい者を積極的に雇用する企業の協力を得て、障がい者雇用の現場の状況を約7分の動画「障がい者スタッフの1日を追って」にまとめ、協会ホームページに掲載した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

1-5-1 関係行政機関・関係団体との連絡

<建築物衛生管理委員会、労務管理委員会、障がい者等自立支援委員会>

【令和3年度事業計画】

関係諸法令の運用の解説等、講習会を充実させるため、東京都、一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構等と連携を図り、情報交換・講師依頼等を進める。

<建築物衛生管理委員会>

関係諸法令の教育のため清掃作業従事者研修指導者講習、貯水槽清掃作業従事者研修について東京都から講師を招き、法改正など行政の最新情報を提供した。

従来、建築物ねずみ等防除作業従事者研修についても東京都から講師を招いているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会を中止した。

<労務管理委員会>

ガラス清掃における災害事例や安全対策について、一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会と情報交換会を実施した。

- 開催日：令和4年3月25日（金）
- 参加数：10名（東京労働局専門官含む）

<障がい者等自立支援委員会>

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部が主催する「第20回東京障害者技能競技大会」に協賛し、実施に協力した。

- 開催日：令和4年2月19日（土）
- 会場：東京障害者職業能力開発校（小平市）
- 出場選手数：15名

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催する「第41回全国障害者技能競技大会」に協賛し、全国協会を通じて検定委員・補佐員を派遣し、実施に協力した。

- 開催日：令和3年12月17日（金）～12月20日（月）
- 会場：東京ビッグサイト（江東区）
- 出場選手数：43名

1-5-2 法改正及び関係資料の送付<建築物衛生管理委員会>

【令和3年度事業計画】

法改正及び建築物衛生業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

建築物衛生業務に関連した情報を会員に周知した。

1-5-3 専門委員の派遣<建築物衛生管理委員会>

【令和3年度事業計画】

関係団体等に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京しごと財団主催の「オフィスビルクリーニングスタッフ」講習に、延べ19名の専任講師を派遣した。

第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

2-1-1 実態調査の実施＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

(1) 警備・防災業務に関する実態調査

警備・防災業務において活用するため、警備員の労働条件等の正確なデータを収集し、「防火・防災業務に関する実態調査」を実施する。(2か年で実施)

「防火・防災業務に関する実態調査」について調査事項や時期、方法等について検討を行った。

2-1-2 見学会の実施＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

新しい知識を習得するために、最新の警備・防災施設及び設備機器等の見学会を実施する。

見学先として決定していた本所防災館が、まん延防止等重点措置の実施により無期限の休館となったため、見学会を中止した。

【2 教育及び訓練の事業】

2-2-1 講習会の実施＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

警備員の知識・能力向上のために、次の法定教育、講習会を実施する。

「現任警備員教育」のうち「基本教育」と「業務別教育（1号）」については受講希望者の増加に対応するため、回数を増加する。「業務別教育（2号）」は継続的な受講者減に伴い回数を縮小する。

また、警備・防災業務に関する情報を周知するため、警視庁や東京消防庁、専門団体等から講師を招き、会員ニーズや業界動向を踏まえたテーマでセミナーを実施する。

併せて講習会等において必要となる資機材の購入、修理、交換等を実施する。

- | | | |
|--------------------------------|----|------|
| (1) 新任警備員教育（認定職業訓練 1回21時間） | | 年21回 |
| (2) 現任警備員基本教育講習（1回4時間） | 拡大 | 年20回 |
| (3) 現任警備員業務別教育（1号）講習（1回6時間） | 拡大 | 年19回 |
| (4) 現任警備員業務別教育（2号）講習（1回6時間） | 縮小 | 年5回 |
| (5) 初心者向け防火防災の基礎（1回5時間） | | 年2回 |
| (6) 消防技術実技専門教育（1回5時間） | | 年2回 |
| (7) 現場警備責任者のためのスキルアップ講習（1回6時間） | | 年1回 |
| (8) 警備防災関連セミナー | | 年4回 |
| (9) 研修資機材の整備 | | |
| (10) 研修会講師の育成等 | | |

(1) から (7) の教育及び講習会

警備員に対する法定教育である「新任警備員教育」「現任警備員教育」、警備員現場隊長クラスを対象とした「現場警備責任者のためのスキルアップ講習」、消防・防災関連業務従事者を対象とした「初心者向

け防火防災の基礎」「消防技術実技専門教育」を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3年度も一部の講習会の中止や人数制限を継続した。コロナ禍前と比べ受講者数が減少している中、受講者数は2,003名で前年比223名増であった。

講習会の実施状況

区分	年度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
新任警備員 教育	3年度	21	20	256	61	317	191	43	234
	2年度	21	16	233	40	273	163	34	197
	増減	0	4	23	21	44	28	9	37
現任警備員 基本教育	3年度	20	18	648	87	735	270	45	315
	2年度	18	13	619	87	706	227	49	276
	増減	2	5	29	0	29	43	△4	39
現任警備員 教育 (1号)	3年度	19	19	773	83	856	314	37	351
	2年度	16	18	641	73	714	254	35	289
	増減	3	1	132	10	142	60	2	62
現任警備員 教育 (2号)	3年度	5	4	30	3	33	14	2	16
	2年度	6	4	36	6	42	15	2	17
	増減	△1	0	△6	△3	△9	△1	0	△1
初心者向け 防火防災の 基礎	3年度	2	2	23	1	24	12	1	13
	2年度	2	1	12	1	13	6	1	7
	増減	0	1	11	0	11	6	0	6
消防技術 実技専門 教育	3年度	2	1	19	1	20	10	1	11
	2年度	2	1	12	2	14	8	1	9
	増減	0	0	7	△1	6	2	0	2
現場警備責任者 のためのスキル アップ講習	3年度	1	1	17	1	18	9	1	10
	2年度	1	1	18	0	18	10	0	10
	増減	0	0	△1	1	0	△1	1	0

講習会全体の対前年度実績比較

年度	計画(回)	実施(回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
3年度	70	65	1,766	237	2,003	820	130	950
2年度	66	54	1,571	209	1,780	683	122	805
増減	4	11	195	28	223	137	8	145

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した講習会は次のとおり。

○消防技術実技専門教育 (1回)

※希望者が少なく開催を中止した講習会は次のとおり。

○新任警備員教育 (1回)

○現任警備員基本教育 (2回)

○現任警備員教育(2号) (1回)

(8) 警備防災関連セミナー

最新の警備・防災業界の知識を得ることを目的として、消防設備の取り扱いや警備員の接客マナーなどをテーマに、次のセミナーを実施した。

ア ○開催日：令和3年10月26日（火）

○テーマ：上級救命講習

○講師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師

○参加数：19名

イ ○開催日：令和3年11月24日（水）

○テーマ：二酸化炭素消火設備の安全管理対策（建築物施設保全委員会と合同開催）

○講師：東京消防庁 予防部 予防課 黒田 翔一 氏

○参加数：会場21名 オンライン65名

ウ ○開催日：令和3年11月25日（木）

○テーマ：上級救命講習

○講師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師

○参加数：20名

エ ○開催日：令和4年3月14日（月）

○テーマ：警備員のためのおもてなし

○講師：株式会社インソース 河合 淑行 氏（人材育成講師、元ホテル支配人）

○参加数：30名

(9) 研修資機材の整備

講習会で使用する訓練用AEDなどの資機材や消耗品を購入した。

(10) 研修会講師の育成等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講師向けの講習会を中止した。

2-2-2 参考書籍・研修教科書の作成＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

次のテキスト作成を実施する。

(1) 『警備員教本』の改訂

(2) 『警備員手帳』の改訂

新規

(1) 警備員教本

災害への対策など最新の防災情報を反映した内容に改訂を行い、2,000部作成した。

(2) 警備員手帳

警備業法など各種法令の改正に対応した内容に改訂を行い、1,500部作成した。

2-2-3 法改正及び関係資料の送付＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

法改正及び警備業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

警備業務に関連した情報を会員に周知した。

【5 その他目的達成に必要な事業】**2-5-1 関係行政機関・関連団体との連絡協調＜警備防災委員会＞**

【令和3年度事業計画】

警備・防災業務の適正な推進を図るため、警視庁、東京消防庁等の行政機関並びに一般社団法人東京都警備業協会及び公益財団法人東京防災救急協会等の関連団体と緊密な連絡をとり、情報交換を行う。

「新任警備員教育」における救急法指導に公益財団法人東京防災救急協会から講師派遣を受けたほか、二酸化炭素消火設備の誤放出事故が連続して発生したことを踏まえ、東京消防庁から講師を招き、情報提供を行うセミナーを実施した。

2-5-2 専門委員の派遣＜警備防災委員会＞

【令和3年度事業計画】

公益財団法人東京防災救急協会に評議員及び委員を派遣し、関係業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京防災救急協会に評議員、委員を派遣し、防火防災関連の最新情報を得るとともに、関係業務の遂行に協力した。

第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

3-1-1 調査研究の実施＜建築物施設保全委員会＞

【令和3年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

- (1) 設備員の育成に向け教育機関を見学するなど、教育方法についての調査研究
(2か年で実施)
- (2) アフターコロナに向けた各社のビル管理における取り組みについての調査研究 新規

次の項目の調査研究を実施した。

- (1) 都立城東職業能力開発センターで実施している「ビル管理科」の訓練を見学し、設備員の教育方法について調査した。調査結果は、次年度に作成する『設備点検マニュアル(仮)』に活用する。
- (2) ウイズコロナ・アフターコロナに向けた各社の対応について調査し、17ページにまとめた冊子を1,300部作成した。

○成果物：『調査研究結果報告書－ウイズコロナ・アフターコロナに向けた対応－』

3-1-2 見学会の実施＜建築物施設保全委員会＞

【令和3年度事業計画】

設備管理技術の向上に資するため、新しいビルや大型施設等の見学会を実施する。

設備員の教育・訓練の参考とするため、最新技術を取り入れた研修センターの見学会を実施し、墜落・感電等の事故を体感できるVR設備の体験や各種設備の見学を行った。

- 開催日：令和3年11月30日(火)
- 見学先：JR東日本ビルテック株式会社研修センター(埼玉県さいたま市)
- 参加数：18名

3-1-3 他地区ビルメンテナンス協会との情報交換会の実施＜建築物施設保全委員会＞

【令和3年度事業計画】

相互に設備管理の課題を出し合い、解決策を検討するために、一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会との情報交換会を実施する。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から情報交換会を中止した。

【2 教育及び訓練の事業】

3-2-1 研修・講習会の実施<建築物施設保全委員会>

【令和3年度事業計画】

設備員の技能向上、人材育成を図るために、次の講習会を実施する。また、円滑な講習会運営のため、新規機材の購入、既存機材のメンテナンス等を実施するほか、協会講師の一層の能力向上を図るため、外部講習会の受講の支援、協会講師専用ユニフォームの製作などを実施する。

- | | |
|----------------------------------|------|
| (1) ビル設備管理の基礎 新人教育（認定職業訓練 1回5日間） | 年2回 |
| (2) 法定講習・電気取扱者安全衛生特別教育 | 年5回 |
| (3) 専門講習 | 年32回 |
| (4) 研修資機材の整備 | |
| (5) 研修会講師の育成等 | |

(1) ビル設備管理の基礎 新人教育、(2) 法定講習・電気取扱者安全衛生特別教育及び(3) 専門講習
 設備員を対象に、設備管理（電気・空調・給排水等）に関する必要な知識・技術のほか関係法令を指導教育するための講習会を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3年度も一部の講習会の中止や人数制限を継続した。
 コロナ禍前と比べ受講者数が減少している中、受講者数は638名で前年比214名増であった。

講習会の実施状況

区 分	年度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
設備管理の基礎(新人教育)	3年度	2	2	39	7	46	24	5	29
	2年度	2	1	17	3	20	10	2	12
	増減	0	1	22	4	26	14	3	17
高圧・特別高圧電気取扱者 安全衛生特別教育	3年度	3	2	27	2	29	20	1	21
	2年度	3	2	20	6	26	13	4	17
	増減	0	0	7	△4	3	7	△3	4
低圧電気取扱者 安全衛生特別教育	3年度	2	2	25	6	31	16	5	21
	2年度	2	1	14	0	14	10	0	10
	増減	0	1	11	6	17	6	5	11
専門講習	3年度	32	25	490	42	532	293	32	325
	2年度	32	20	314	50	364	205	44	249
	増減	0	5	176	△8	168	88	△12	76

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
3年度	39	31	581	57	638	353	43	396
2年度	39	24	365	59	424	238	50	288
増減	0	7	216	△2	214	115	△7	108

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した講習会は次のとおり。

- 高圧・特別高圧電気取扱者安全衛生特別教育 (1回)
- 空調設備の自動制御 (1回)
- 設備と図面の基礎 (2回)
- ビルの給排水・衛生設備 (1回)
- ビルの空気調和設備 (1回)
- ビルの電気設備 (中級編) (1回)
- 保護継電器と保護協調 (1回)

(4) 研修資機材の整備

各講習会で使用するポンプ、マルチリレーテスト、デジタル接地抵抗計、訓練用消火器などの機材や消耗品の購入を実施した。

(5) 研修会講師の育成等

- ア 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講師向けの講習会を中止した。
- イ 講習会で必要な書籍を購入し、講師の知識向上を支援した。

3-2-2 保全セミナーの開催<建築物施設保全委員会>

【令和3年度事業計画】

新しい知識をビル設備管理業務に活かすため、セミナーを実施する。

(1) 二酸化炭素消火設備の誤放出事故が連続で発生したことより、再発防止のため安全対策についての情報提供を行うセミナーを会場とオンラインの併用で実施した。(警備防災委員会と合同開催)

- 開催日：令和3年11月24日(水)
- テーマ：二酸化炭素消火設備の安全管理対策
- 講 師：東京消防庁 予防部 予防課 黒田 翔一 氏
- 参加数：会場21名 オンライン65名

(2) カーボンニュートラルの取組みの一つである省エネに焦点をあてた情報提供を行うセミナーを実施した。

- 開催日：令和4年3月4日(金) ※オンライン配信
- テーマ：カーボンニュートラル時代における省エネ
- 講 師：一般財団法人省エネルギーセンター 大西 義人 氏
アズビル株式会社 関根 勉 氏
- 参加数：31名

3-2-3 参考書籍・講習会資料の作製<建築物施設保全委員会>

【令和3年度事業計画】

次のテキストの作製を実施する。

(1) 『設備点検マニュアル（仮）』の作成（2か年で実施）

継続

(2) 『設備管理責任者のための業務マニュアル』の改訂（2か年で実施）

新規

- (1) 設備点検に関する初心者向けマニュアルとして『設備点検マニュアル（仮）』の原稿を作成した。
- (2) 法令等、一部内容に変更があることから『設備管理責任者のための業務マニュアル』の改訂原稿を作成した。
- (3) 『ビル設備管理テキスト（初級編）』3,000部、『ビル設備管理テキスト（中級編）』900部、『ビル設備管理用語集』500部を増刷した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

3-5-1 専門委員の派遣<建築物施設保全委員会>

【令和3年度事業計画】

関連団体に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

関東地区電気使用合理化委員会に、建築物施設保全委員会委員長を派遣した。

第4 普及啓発・活用の事業

【2 教育及び訓練の事業】

4-2-1 労働安全研修・講習会の実施<労務管理委員会>

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業の労働安全衛生向上のために、各種の講習会の実施とテキストを作成する。

(1) 危険予知訓練（KYT）講習会	年4回	
(2) リスクアセスメント講習	年2回	
(3) 安全管理者選任時講習	年1回	
(4) 労働安全衛生関係講習会・セミナー	年3回	
(5) 衛生管理者試験対策講習	年1回	
(6) 『リスクアセスメントの手順』の改訂		新規

(1) 危険予知訓練（KYT）講習会

現場従事者の危険感受性を向上させ、ヒューマンエラーの防止等に大きな効果がある危険予知訓練（KYT）の講習を実施した。

危険予知訓練（KYT）講習会実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
3年度	4	4	46	0	46	19	0	19	中央労働災害 防止協会講師
2年度	4	2	36	0	36	15	0	15	同上
増減	0	2	10	0	10	4	0	4	—

(2) リスクアセスメント講習

労働災害防止のため、リスクを低減し、優先順位を付けて計画的に対策を行うリスクアセスメントの普及啓発を目的とした講習を実施した。

リスクアセスメント講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
3年度	2	2	24	0	24	14	0	14	高橋 明彦 氏
2年度	2	0	0	0	0	0	0	0	※新型コロナウイルスのため中止
増減	0	2	24	0	24	14	0	14	—

(3) 安全管理者選任時講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場では安全管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育の補助を目的とした講習を実施した。

安全管理者選任時講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
3年度	1	1	11	0	11	9	0	9	労務管理委員会 委員
2年度	1	1	10	2	12	6	1	7	同上
増減	0	0	1	△2	△1	3	△1	2	—

(4) 労働安全衛生関係講習会・セミナー

労働安全衛生水準の一層の向上を図り、職場における安全の確保と労働災害撲滅を目的として、法改正への取り組み方や指導方法などの情報提供を行うセミナーを実施した。

ア ○開催日：令和3年6月25日（金）

○テーマ：高所作業等の熱中症対策と安全確保

○講 師：東京労働局労働基準部安全課 武知 正文 氏

一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会 白石 好平 氏、百合野 毅 氏

○参加数：17名

イ ○開催日：令和3年11月19日（金）

○テーマ：安全パトロール・職場巡視のポイント

○講 師：株式会社安全教育センター副所長 角田 淳 氏

○参加数：44名

ウ ○開催日：令和4年3月30日（水）

○テーマ：今こそ学ぶ これからの転倒予防・防止

○講 師：労災収支改善小委員会 森井 梢江 氏

株式会社シモン 宮塚 徹 氏

○参加数：33名

(5) 衛生管理者試験対策講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場では衛生管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育補助を目的とした研修を実施した。

○開催日：令和4年2月2日（水）、3日（木）（2日間講習）

○講 師：一般社団法人こころ一ど 吉藤 正隆 氏

○参加数：8名

(6) 『リスクアセスメントの手順』の改訂

最新の法改正と新たに化学物質のリスクアセスメントを紹介するため、40ページに改訂した冊子を1,500部作成した。

【3 育成の事業】

4-3-1 相談事業の実施<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業務に関連した経営上の多様な問題解決に資するため、人事労務管理、経営全般、ISO、法律、品質改善活動等の相談を受け、専門家によるアドバイス、改善指導等を行う。

次の相談事業を実施した。

○相談内容：清掃管理手法、クレーム対応、消毒作業、設備保全関係

- 相談件数：4件
- 広報誌掲載：11回（何でも相談コーナー）

掲載号・相談員名及びタイトル

掲載号	相談員名	タイトル
4月号	中辻 一裕（中小企業診断士）	行動経済学 ^⑫ ナッジ その3
5月号	富永 雄次 （1級電気工事施行管理技士等）	脱炭素社会に向けた対応
6月号	坂 康夫（技術士）	清掃インスペクションと品質管理
7月号	石井 泰幸（税理士）	税務関係書類における押印義務の見直し
8-9月号	金丸 大二 （特定社会保険労務士）	M&Aに伴う労働契約承継の基本知識
10月号	江村 利明（弁護士）	改正債権法による消滅時効の規律の変更について
11月号	北山 克己 （ビルクリーニング技能士等）	選手村における作業指示の伝達の難しさ
12月号	中辻 一裕（中小企業診断士）	行動経済学 ^⑬ 満点は何点？
1月号	富永 雄次 （1級電気工事施行管理技士等）	カーボンニュートラル
2月号	坂 康夫（技術士）	性能発注方式-SLA/KPI-品質管理
3月号	石井 泰幸（税理士）	インボイス制度のあらましと免税業者について

4-3-2 採用等支援事業の実施＜総務委員会＞

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の喫緊の課題である人材確保と育成・定着支援、雇用環境整備支援として、次の事業を実施する。

- (1) 各種セミナーの実施
- (2) 業界特化型求人サイトの運営

(1) 人手不足対策セミナーの実施（経営研究委員会と合同開催）

令和3年4月にリニューアルした求人サイトの実績紹介を兼ねたセミナーを実施した。

○開催日：令和4年1月31日（月） ※オンライン配信

○テーマ：人手不足対策 ～採用コストの削減に向けた取り組みと業務効率化サービス紹介～

○講師：株式会社アイデム、ユアマイスター株式会社

○参加数：43名

(2) 業界特化型求人サイトの運営

会員への支援を強化するために令和3年4月に求人サイトをリニューアルし、求人会社である株式会社アイデムとの連携やIndeed等の求人検索エンジンでも表示されるように変更した。このリニューアルにより、利用状況が大幅に改善した。

○利用社数：79社（18社） ※（ ）内は令和2年度実績

○求人掲載数：147件（63件）

○年間応募数：625件（12件）

4-3-3 社会貢献事業＜障がい者等自立支援委員会＞

【令和3年度事業計画】

次の事業を実施する。

＜障がい者就労支援事業＞

- | | | |
|----------------------------------|--|------|
| (1) 就労体験（インターンシップ）の実施 | | |
| 都内特別支援学校生徒等の就労体験（インターンシップ）を実施する。 | | 年25回 |
| (2) 障がい児（者）に対する自立支援事業 | | |
| 都内各特別支援学校を訪問し、児童、生徒に対する指導研修等を行う。 | | 年55回 |
| (3) 研修・講習会の実施 | | |
| 障がい者の清掃技能の向上のため、次の研修を実施する。 | | |
| ア 障がい者清掃作業指導員研修 | | |
| 障がい者清掃作業指導員コース（認定職業訓練 1回12時間） | | 年1回 |
| イ 障がい者清掃作業従事者研修 | | |
| ① 1から学ぶ清掃講習（基礎編） | | 年1回 |
| ② ステップアップ清掃講習（応用編） | | 年1回 |
| ウ 研修資機材の整備 | | |
| エ 研修会講師の育成等 | | 新規 |
| (4) セミナーの開催 | | |
| 障がい者雇用に対する企業の理解を深めるためのセミナー等を行う。 | | 年1回 |

＜障がい者就労支援受託事業等＞

- | | | |
|---|--|-----|
| (1) 東京都教育庁受託事業 | | |
| 令和2年度までの都内特別支援学校教員や障害者学級教員を対象とした清掃研修、清掃講習会への協力事業を変更し、同様規模で実施を予定する（※事業内容は東京都と調整中）。 | | |
| (2) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力東京都からの依頼を受け、清掃技能検定へ審査員を派遣する。 | | 年2回 |

＜障がい者等就労支援事業＞

- | | | |
|--|-----------|--|
| (1) 就労体験（インターンシップ）の実施 | | |
| 就労体験指導（学校での指導） | 5回（1校） | |
| （企業でのインターンシップ） | 5回（1校・1社） | |
| (2) 障がい児（者）に対する自立支援事業 | | |
| 都立知的・聴覚障害特別支援学校高等部生徒を対象とした自立と就労支援、小・中学部生徒を対象とした家庭でできる清掃の基礎指導等を目的とし、特別支援学校に講師を派遣した。 | | |
| ア 清掃検定対策指導 | 15回（15校） | |
| イ 清掃親子教室 | 13回（9校） | |
| (3) 研修・講習会の実施 | | |
| ア 障がい者清掃作業指導員研修（障がい者清掃作業指導員コース） | | |
| 障がい者を雇用している又は雇用を予定している企業の清掃責任者等の養成を目的として、障がい者従業員の指導方法等の研修を実施した。 | | |
| ○開催日：令和3年10月5日（火）、6日（水）（2日間講習） | | |
| ○参加数：9名 | | |

イ 障がい者清掃作業従事者研修

ビルメンテナンス業界で働く障がい者を対象に、スキルアップとモチベーションの維持向上を目的とし、基礎的な清掃技術の研修を実施した。

① 1 から学ぶ清掃講習（基礎編）

○開催日：令和4年3月29日（火）

○参加数：10名

② ステップアップ清掃講習（応用編）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会を中止した。

ウ 研修資機材の整備

講習会等に使用する消耗品を購入した。

エ 研修会講師の育成等

アピリンピック課題の研修を実施した。

○開催日：令和3年10月26日（火）

○参加者：講師11名

(4) セミナーの開催

ア ビルメンテナンス業界における障がい者雇用の促進を目的に、障がい者就労支援セミナーを開催した。

○開催日：令和3年6月18日（金）

○テーマ：障がいのある社員への接し方・受け入れポイント

○講師：都立永福学園高等部就業技術科 主幹教諭 森川 崇 氏

主幹教諭 朝枝 貴政 氏

株式会社サンアメニティ 取締役 布施 賀晶 氏

○参加者：20名

イ 見学会の実施

障がい者雇用促進の参考とするため、障がい者が活躍している企業の就労現場の見学会を実施した。

○開催日：令和3年10月6日（水）

○見学先：日本空港テクノ株式会社（大田区羽田空港内）

○参加数：16名

<障がい者就労支援受託事業等>

(1) 東京都教育庁受託事業

東京都からの事業の委託がなかったため、実施しなかった。

(2) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力

各校で実施された清掃技能検定に延べ11名の審査員を派遣した。

4-3-4 品質改善事業の実施<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業務における品質管理の徹底と品質改善活動の意欲向上を図り、ビルメンテナンス業の発展を促進するために、次の事業を実施する。

- (1) 品質管理に関する各種講習会
- (2) 品質改善フォーラム（勉強会）
- (3) その他普及啓発活動

(1) 品質管理に関する各種講座の実施

ア 品質管理入門コース

ビルメンテナンス業界における品質管理の初学者を対象として実施した。

○開催日：令和3年4月15日（木）

○講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

○参加数：23名

イ 品質管理推進者コース（全2回完結）

職場において品質管理手法を普及、指導する方を対象に実施した。

○開催日：第1回目 令和3年6月21日（月）

第2回目 令和3年7月21日（水）

○講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

○参加数：16名

ウ トラブル・クレーム・労働災害の再発防止対策講座（全3回完結）

ビルメンテナンス業における現場の問題点として、主に「トラブル」、「クレーム」、「労働災害」の3点が挙げられており、これらの諸問題の再発を防止するため、品質管理の手法を用いた問題解決手順を学ぶ講習会を実施した。

○開催日：第1回目 令和3年9月14日（火）

第2回目 令和3年10月5日（火）

第3回目 令和3年11月17日（水）

○講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

○参加数：15名

(2) 品質改善勉強会の開催

会員会社が抱える品質管理に関する諸問題について、専門家を交えて解決方法を検討する勉強会を開催した。

○開催実績：第1回 令和3年4月2日（金）

第2回 令和3年5月7日（金）

第3回 令和3年6月4日（金）

第4回 令和3年10月1日（金）

第5回 令和3年11月4日（木）

第6回 令和3年12月3日（金）

第7回 令和4年1月6日（木）

第8回 令和4年3月4日（金）

○参加企業：5社

(3) その他普及啓発活動

会員会社が企画する品質管理に関する社内研修等に、ビルメンテナンス業の品質管理に詳しい有識者を派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

4-3-5 労働安全衛生の推進事業の実施＜労務管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

労働安全衛生意識の向上、関係情報の提供等を図るために、次の事業を実施する。

(1) 労働安全衛生大会の開催	年1回
(2) 労働災害・無災害企業の募集及び表彰	年1回
(3) 労働安全衛生標語の募集及び表彰	年1回
(4) ヒヤリ・ハット活動報告の募集及び表彰	年1回
(5) 労働安全講師の派遣	年10回

(1) 労働安全衛生大会の開催

東京労働局、中央労働災害防止協会から来賓を招き、業界の内外に「労働災害の撲滅」に取り組む宣言の場として、ビルメンテナンス業の労働安全衛生の向上・啓発を目的に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出席人数を制限して実施した。

○開催日：令和3年10月8日（金）

○来 賓：東京労働局労働基準部安全課長 山崎 琢也 氏
中央労働災害防止協会理事長 竹越 徹 氏

○講 演：大原記念労働科学研究所 客員研究員 永田 久雄 氏
「ビルメンテナンス業における転倒災害の防止」

○参加数：67名

労働災害撲滅を啓発するため、労働安全衛生大会において配付するノベルティとして防水スマホケースを650個作製した。

また、各社従業員の日々の健康増進に向けた約5分の動画「ビルメン体操 転倒防止」と掲示物カードを2,000部作成した。

(2) 労働災害無災害企業の表彰

労働安全意識の高揚を目的として、無災害記録を達成した会員について、労働安全衛生大会において表彰した。

○15年間無災害1社 東海産業株式会社

○10年間無災害2社 日建管財株式会社、日本整美株式会社

○3年間無災害1社 東京電気清装株式会社

(3) 労働安全衛生標語の入選者の表彰

労働安全衛生（通勤災害、健康保持増進関連を含む）に関する標語の募集を行い、選考会にて優秀作品を選出し、入選作者を労働安全衛生大会において表彰した。

○金賞：鹿島 幸貴 氏（株式会社菱サ・ビルウェア）

○銀賞：新垣 雪 氏（株式会社ケントク 東京本部）
臼木 優子 氏（株式会社サンセイ）

○銅賞：小島 呈慈 氏（大星ビル管理株式会社）

岡安 哲哉 氏（東京ガスファシリティサービス株式会社）
八鍬 英治 氏（日本クリーン株式会社）

- (4) ヒヤリ・ハット報告に伴う改善事例の表彰
 入選作の13作品を労働安全衛生大会において表彰した。
- (5) 労働安全講師の派遣
 社内の安全衛生委員会、安全大会等に労務管理委員会委員を講師として派遣しており、3社の要請に応じて派遣した。

【4 普及啓発と活用の事業】

4-4-1 広報誌の発行＜広報委員会＞

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンスに関連した情報発信のために、次の情報を掲載した広報誌『ネットワーク東京』を発行する。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
- (2) 各種セミナー、社会貢献活動等協会事業に関する情報
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
- (4) 総会・理事会に関する情報等

9月を除く毎月、年11回発行した。各号について以下の特集記事を掲載した。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
 - 4月号 警備業における感染症対策とWithコロナ時代への対応
 - 5月号 コロナ禍における換気対策、まぜるな危険！洗剤・消毒剤の事故例から学ぶ
 - 2月号 「二酸化炭素消火設備の安全管理対策セミナー」から
- (2) 協会事業に関する情報
 - 7月号 第17回ビルクリーニング技能競技会東京大会開催
 - 12月号 令和3年度 労働安全衛生大会開催
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
 - 6月号 受動喫煙防止の義務化から考える健康経営
 - 10月号 ビルメンテナンス業と労働安全衛生マネジメントシステム
 - 11月号 ビルメンテナンス業における企業コンプライアンス
 - 1月号 「性能発注契約のためのSLA/KPIセミナー」から
 - 3月号 採用コストの削減に向けた取組みと業務効率化サービス紹介
- (4) 総会・理事会・各委員会に関する情報等
 - 8&9月号 第11回 定時総会開催報告
 その他、理事会開催の翌月は理事会報告を掲載した。

4-4-2 社会への業界・協会PR活動の実施＜広報委員会＞

【令和3年度事業計画】

業界・協会活動を広く社会にPRする活動を実施する。また、マスコミ対応や情報提供等を実施する。

協会が運営するビルメンテナンス業に特化した求人サイト「東京ビルメンお仕事さがし」のWeb広告による宣伝を実施した。

4-4-3 協会ホームページの充実等〈広報委員会〉

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンスに関する情報を広く社会にPRするため、協会ホームページの更新、メールマガジンの配信を実施する。

ホームページの大規模リニューアル実施に向けて準備を進めたほか、メールマガジンを定期的に年12回配信した。また、新型コロナワクチンの職域接種に関する情報等の最新情報を提供した。

4-4-4 こども絵画コンクールの実施〈広報委員会〉

【令和3年度事業計画】

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会主催のこども絵画コンクールに合わせ、東京地区からの応募作品から優秀作品を選び顕彰する。また、優秀作品を掲載したカレンダーを作成し、会員・学校等に配付する。

東京地区からの応募作品について次のとおり審査し、優秀作品を選出した。また、入選作品を掲載したカレンダーを5,000部作成し、会員のほか、都内公立小学校等に配付した。

- (1) 東京地区応募作品数:1,141点
- (2) 一次審査：(実施日) 令和3年10月3日(日)
(審査員) 都内公立小学校美術教諭4名
- (3) 二次審査：(実施日) 令和3年10月7日(木)
(審査員) 広報委員会委員等6名
- (4) 審査結果：12点の優秀作品を選出し、受賞者には、表彰状と副賞を送付した。
- (5) 配付先：会員、都内公立小学校、幼稚園及び児童館等の計3,719箇所配付した。

4-4-5 ビルメンテナンスフェアTOKYOの開催〈ビルメンテナンスフェア実行委員会・広報委員会〉

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の育成と社会へのPRを目的に、隔年でビルメンテナンスフェアを開催している。当年度は開催年度に当たることから、令和2年度に新たな施設として竣工した東京都立産業貿易センター浜松町館において開催する。

令和3年6月に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和4年7月へ延期した。令和4年度の開催に向けて、ビルメンテナンスフェア実行委員会を設置し、ビルメンテナンスフェアTOKYOに関する内容を審議したほか、出展説明会等を開催した。

- (1) 出展説明会
 - 開催日：令和4年2月7日(月)
 - 参加社数：26社
 - 内容：ビルメンテナンスフェア概要説明と出展申込内容等
- (2) 出展ブース小間割り抽選会
 - 開催日：令和4年3月18日(金)
 - 出展社数：24社
 - 内容：出展ブース場所抽選、出展マニュアル説明、イベント等説明等

第5 収益等その他の事業（共益事業・収益事業）

【1 調査及び研究の事業】

5-1-1 海外研修視察の実施＜総務委員会＞

【令和3年度事業計画】

欧州・北米等におけるビルメンテナンス業の実態視察を目的として参加を募り、海外研修視察を実施する。隔年事業であることから、新型コロナの感染状況を見ながら、次年度の実施に向けて訪問先などの情報収集を行う。

隔年

隔年事業であり、令和4年度の実施に向けて事前準備を行う年度であったが、新型コロナの世界的な感染拡大から、事前準備を延期した。

5-1-2 公的助成金等の周知＜総務委員会＞

【令和3年度事業計画】

公的助成金等を会員に周知し、その利用促進を図るために、広報誌に助成金等の情報を掲載する。

広報誌『ネットワーク東京』7月号に、経済産業省管轄の「小規模事業者持続化補助金」、「事業再構築補助金」や厚生労働省管轄の「トライアル雇用助成金」、「65歳超雇用推進助成金」をそれぞれ掲載し、周知した。

5-1-3 要望活動の実施＜経営研究委員会＞

【令和3年度事業計画】

建築物の適切な維持管理と健全なビルメンテナンス業の育成を図る観点から、東京都等に対して、次の要望活動を実施する。

- (1) 総合評価制度の拡充について
- (2) 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について
- (3) 十分な予算措置及び適正な予定価格の設定について
- (4) 障がい者雇用の促進について
- (5) 新型コロナウイルスなどの感染症対策について

東京都知事等に対し、次のとおり要望を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、要望書の提出は郵送にて実施した。その他、要望内容及びその進捗について、東京都財務局と意見交換会を実施した。

(1) 要望書提出

○要望日：令和3年11月1日（月）

○要望先：東京都知事、特別区長会

○要望項目：ア 総合評価制度の拡充について

イ 十分な予算措置並びに最低制限価格の導入する場合の協議について

ウ 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について

エ 障がい者雇用の促進について

オ 新型コロナウイルス感染対策について

(2) 意見交換会

○実施日：令和3年8月31日、令和4年1月20日 ※オンライン会議

○出席者：財務局経理部契約調整担当課長、契約第二課長 他

要望の回答は、令和4年4月に都議会会派を通じて届いたが、総合評価制度の拡充、障がい者雇用促進（モデル入札案件の実施）及び新型コロナウイルス感染対策では進展があったものの、依然として進展しない項目もある。

【2 教育及び訓練の事業】

5-2-1 労務関係講習の実施＜労務管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

ビルメンテナンス業の労務管理の向上、各種労働問題の解決のため、講習会、セミナー、意見交換会等を実施する。

年2回

労務管理技術の向上のために、最新の法改正や雇用情勢への対応を目的としたセミナーを実施した。

(1) ○開催日：令和3年6月10日（木）※オンライン配信

○テーマ：副業・兼業の最新ガイドラインとトラブル事例

○講師：社会保険労務士法人岡佳伸事務所代表 岡 佳伸 氏

○参加数：45名

(2) ○開催日：令和4年2月25日（金）※オンライン配信

○テーマ：短時間労働者の社会保険適用拡大

○講師：たかはし社会保険労務士事務所代表 高橋 健 氏

○参加数：80名

5-2-2 労務参考図書の作成＜労務管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

業界の共通課題や労務管理業務に関連したハンドブック・リーフレット等を作成する。

適用が拡大される短時間労働者の社会保険について、わかりやすいQ&A形式の解説リーフレット『ビルメンテナンスの現場で知っトク 短時間労働者の社会保険適用拡大』（A4判12ページ）を1,500部作成した。

5-2-3 経営研究セミナーの実施＜経営研究委員会＞

【令和3年度事業計画】

知識の普及や業界の経営改革を先取りした、会社経営に役立つセミナーを実施する。

企業の人材不足対策として、求人サイトや業務効率化ソフトに関するセミナーを実施した。（総務委員会との合同開催）

○開催日：令和4年1月31日（月）※オンライン配信

○テーマ：人手不足対策 ～採用コストの削減に向けた取り組みと業務効率化サービス紹介～

○講師：株式会社アイデム、ユアマイスター株式会社

○参加数：43名

5-2-4 法改正及び関係資料の送付＜労務管理委員会＞

【令和3年度事業計画】

法改正及び労務管理業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

労務管理業務に関連した情報を会員に周知した。

【3 育成の事業】

5-3-1 賃金・契約改定状況の周知＜経営研究委員会＞

【令和3年度事業計画】

都内における最低賃金の上昇、契約改定率等に関するリーフレットを作成し、周知する。

最低賃金の上昇と契約改定率との乖離及びそれに伴う経営難について、ビルオーナーに対して啓発するチラシ（A4判両面カラー刷り）を2,000部作成した。

5-3-2 業界概括調査の実施＜経営研究委員会＞

【令和3年度事業計画】

都内ビルメンテナンス会社の動向等調査を行い、今後の協会事業の参考にする。

新規

業界動向の把握及び要望活動における基礎資料等の取得を目的に、会員企業における外国人や障害者雇用率、ISOやPマーク等の各種資格等の取得状況並びに現在の経営上の問題点等についてアンケート調査を実施し、集計結果を広報誌にて周知した。

○実施日：令和3年10月1日～10月29日

○対象：正会員 509社

○回答社数：215社（42%）

○掲載誌：広報誌『ネットワーク東京』令和4年1月号

【4 普及啓発と活用の事業】

5-4-1 各種広報の実施＜広報委員会ほか＞

【令和3年度事業計画】

協会諸事業の周知を図るために、定期便の発送や記者発表等を実施する。その他、DMの送付等により入会を促進する。

定期便を毎月2回発送し、会員に対して情報の周知を行ったほか、非会員に対して講習会無料券を同封した入会促進DMを447社へ送付した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

5-5-1 文化スポーツ親睦事業の実施＜厚生委員会＞

【令和3年度事業計画】

会員企業従業員の健全な心身の鍛練に資し、相互の同好者により親睦を図るために、新型コロナの感染状況を見ながら、次の事業を実施する。

(1) 野球大会		年1回
(2) ゴルフ大会	縮小	年1回
(3) ボウリング大会		年1回
(4) 東京都交響楽団演奏会招待		年4回
(5) 都立動物園等招待	新規	年4回
(6) 観劇観覧補助	新規	年2回

- (1) 野球大会、(2) ゴルフ大会及び(3) ボウリング大会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。

- (4) 東京都交響楽団演奏会特別招待

年4回を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1回中止し、年3回の開催となった。

	第55回	第56回	第57回
開催日	9月4日(土)	12月24日(金)	1月18日(火)
会場	東京芸術劇場 コンサートホール	東京芸術劇場 コンサートホール	東京文化会館
曲名	シューベルト作曲 交響曲第5番等	ベートーヴェン作曲 交響曲第9番「合唱付き」等	チャイコフスキー作曲 交響曲第6番「悲愴」等
招待数	10組20名	10組20名	15組30名

- (5) 都立動物園等招待

次のとおり実施した。

園名	上野動物園	多摩動物公園	葛西臨海水族園	井の頭自然文化園
招待者数	50名	50名	50名	36名

- (6) 観劇観覧補助

次のとおり実施した。

○開催日：令和4年2月6日(日)

○会場：明治座

○公演名：サザエさん

○参加数：11組22名

5-5-2 防災対策の実施＜総務委員会＞

【令和3年度事業計画】

首都直下型地震等による災害に備え、館内従事者や受講者のための防災用品や食料備蓄の充実を図る。

震災等に対処するため、館内の役職員・受講者等を対象に、食糧・毛布・非常用トイレ袋等を備蓄するとともに、賞味期限の近い備蓄食料の入れ替えを行った。なお、賞味期限が近い備蓄食料については、会館防災訓練参加者等に配付した。

5-5-3 ビルメンテナンス会館管理運営に関する事業の実施<財務委員会>

【令和3年度事業計画】

- (1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営
 - 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人建築物管理訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に賃貸する。
- (2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進
 - 広報誌等に会議室料金表を掲載し、利用の促進を図る。
- (3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営
 - 次の点に留意し、適正な保全・管理運営に努める。
 - ア 会館管理連絡会（当協会・公益社団法人全国ビルメンテナンス協会・一般財団法人建築物管理訓練センターの事務レベル連絡会）の開催による情報の交換
 - イ 保守委託契約に基づく適正な管理
 - ウ 会館の維持に関し、中期修繕計画（次年度分）の見直しの実施
 - エ 中期修繕計画に基づく修繕積立及び実施
 - オ 会館維持に必要なその他修繕等の実施
 - カ 来館者に対する案内板の表示及び会館の環境美化

(1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人建築物管理訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に継続して賃貸した。

(2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進

会館会議室の利用促進を図るために、会館会議室・研修室利用に関する情報を協会ホームページ、広報誌『ネットワーク東京』（掲載回数6回）、『会員名簿』に掲載した。

会議室・研修室利用状況

年度	地階	2階	3階	4階
3年度	55.4%	62.8%	66.9%	52.9%
2年度	42.6%	56.6%	58.7%	52.9%
差	12.8ポイント	6.2ポイント	8.2ポイント	0ポイント

※利用率の算出方法（土日・祝日・会館休業日を除外した年間の実利用日数）

(3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営

テナント各社と会館管理に関する情報交換を行うと共に、管理委託契約に基づく適正な会館維持管理に必要な修繕及び積立、また来館者に対する案内板設置等を次のとおり実施した。

ア 中期修繕計画に基づく修繕

各種改修工事（2階・4階トイレ、給湯室、1階ELVホール、2階・3階サブモニター設置、ドライエリア雨避けテント設置、受水槽室照明）、各種更新工事（外溝タイル、2階・3階床タイル、1階分電盤、駐車場監視カメラ）研修室机・イスの更新

イ その他の修繕、補修等

館内通信設備、その他小口修繕工事

ウ ビルメンテナンス会館の案内板の設置

JR及び東京メトロ 西日暮里駅、並びに会館最寄りの電柱 計4カ所

5-5-4 広聴活動等の実施<広報委員会>

【令和3年度事業計画】

会員の声を広聴するため、必要に応じて座談会やアンケート調査等を実施する。

ビルメンテナンスフェアTOKYO2021にて参加者アンケートを予定していたが、ビルメンテナンスフェアが中止となったことから実施しなかった。

5-5-5 新年賀詞交歓会の開催<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

会員相互の新年を祝う会として新年賀詞交歓会を実施する。

新年賀詞交歓会を開催し会員等の交流・親睦を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数の制限等を行った。

○開催日：令和4年1月12日（水）

○会 場：浅草ビューホテル

○参加数：114名

5-5-6 表彰事業の実施<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

次の表彰を実施する。

(1) 協会の主催する表彰

ア 優良従業員表彰

優秀な従業員を、会員から1社5名以内で推薦を受け、表彰を行う。

イ 永年勤続者表彰

定時総会において、協会の役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者に対し、規則に基づき表彰を行う。

ウ 慶祝行事としてのお祝い品

定時総会において、還暦を迎えた会員代表者（1名）等に記念品を贈呈し、慶祝する。

(2) 叙勲・褒章・表彰等に関する推薦

叙勲・褒章及び東京都功労者表彰等について、受章候補者及び被表彰候補者を推薦する。

(1) 協会の主催する表彰

ア 優良従業員表彰

会員から優秀な従業員について1社5名の範囲で推薦を受け、表彰を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、式典を中止し、被表彰者に対して表彰状及び記念品を送付した。

○記念品到着日：令和3年6月15日（火）

○被表彰者数：786名（184社）

イ 功労賞表彰

特に功労のあった方の表彰を行った。（被表彰者1名）

ウ 永年勤続者表彰

役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者の表彰を行った。（被表彰者41名）

エ 慶祝行事としてのお祝い品

還暦を迎えた会員代表者に記念品を贈呈した。(対象者4名)

(2) 国・都・他団体の各表彰への推薦

協会推薦により次の方が表彰を受けた。

(敬称略)

表彰名	氏名
東京都知事感謝状(認定職業訓練功労)	小林 享
東京都産業労働局長感謝状(認定職業訓練功労)	大島真理子
東京労働局長安全衛生推進賞	橋本 佳明
公益財団法人日本建築衛生管理教育センター会長表彰	大島真理子

5-5-7 役員・委員の集い<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

今後の協会運営を円滑に進めるために、令和3・4年度の役員及び委員を対象として懇親を図るイベントを開催する。

隔年

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

5-5-8 福利厚生事業の実施<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

次の団体扱い保険等に加入できる制度を整備し、会員の福利厚生に資する。

(1) 賠償責任保険

グループ傷害保険(労災保険上乗せ)

(2) その他(全国協会取扱い)

一般財団法人全国中小企業共済財団の生命共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償共済保険、AIUの災害補償制度及び賠償責任補償制度

団体扱い保険等への加入状況は次のとおりである。

各種保険の加入状況

区分	加入状況
グループ傷害保険(政府労災の上乗せ制度)	7件
生命災害共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償責任保険、災害補償制度、賠償責任補償制度	59件

5-5-9 オリンピック・パラリンピック競技大会支援事業

<東京2020オリンピック・パラリンピック対応特別委員会>

【令和3年度事業計画】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を施設管理面からサポートした各社の経験を今後のビルメンテナンス業の発展に生かすため、施設管理の様子等を発表する事業報告会を実施するとともに、参加・協力した各社の表彰等を行う。また、記念品や記念冊子の作成・配付を行う。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る選手村ハウスキーピング業務を受託したビルメン事業共同企業体では、この国際的な一大事業におけるハウスキーピング業務の記録を冊子『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 選手村ハウスキーピング業務報告書 笑顔とおもてなしの

全記録』(A4判178ページ)としてまとめた。当協会では、この貴重な経験を通じて得られた知見や教訓を広く会員各社と共有するため、本冊子を全会員へ配付した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業報告会は中止とした。

5-5-10 名簿等の作成<総務委員会>

【令和3年度事業計画】

会員の交流と利便性の向上に資するよう会員名簿を作成する。

会社名、所在地等を掲載した『会員名簿』を作成し、会員等に配付した。

5-5-11 役員立候補者の資格等審査に関する事項の実施<役員立候補者資格等審査委員会>

【令和3年度事業計画】

役員立候補者の資格等の審査に関する事務を適正に実施する。

令和3-4年度役員立候補者の資格等審査を実施した。

5-5-12 協会周年事業<広報委員会>

【令和3年度事業計画】

令和4年度に協会が60周年を迎えるにあたり、記念誌に掲載する内容の調査及び検討を実施する。

新規

『公益社団法人東京ビルメンテナンス協会60年史』の発行に向けて、以下の通りインタビューを実施したほか、各種製作並びに調査を実施した。

○開催日：令和4年2月17日(木)

○会場：ビルメンテナンス会館

○参加者：公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 最高相談役 狩野 伸彌 氏

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 名誉会長 一戸 隆男 氏

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 会長 佐々木浩二 氏

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 副会長 木村 健司 氏

Ⅲ 本会の目的を達成するために必要な会議の開催

本会の目的を達成するために必要な会議を次のとおり実施した。

1 総会・理事会

(1) 総会

<p>第11回定時総会 開催日：令和3年6月3日（木）、於：ビルメンテナンス会館</p> <p>以下の議案が提案され、原案通り承認された。</p> <p>第1号議案 令和2年度 事業報告承認の件</p> <p>第2号議案 令和2年度 決算承認の件 －監査報告－</p> <p>第3号議案 定款及び規程等の一部改正の件</p> <p>第4号議案 令和3・4年度 役員等選任の件</p>

(2) 理事会

年間合計9回開催した。主な審議内容は次のとおりである。

理事会名	開催日等	審議内容
第112回	令和3年4月6日(火)	1) 理事職務の継続について 2) 入会の承認について 3) 第11回定時総会の招集について 4) 60周年記念事業実行委員会の設置について 原案通り承認
第113回	令和3年5月11日(火)	1) 入会の承認について 2) 継続入会の承認について 3) 令和2年度 事業報告について 4) 令和2年度 決算について 5) 諸規程の改正について その1 役員選任規程の一部改正 その2 会員の入退会、倫理等に関する規則施行規則細則の一部改正 6) 令和3・4年度 東京協会役員候補者等の総会付議について 7) 各種表彰候補者について その1 功労賞表彰 その2 永年勤続者表彰 原案通り承認
臨時	令和3年6月3日(木)	1) 会長の選任について 2) その1 副会長及び専務理事の選任について その2 会長に代わる理事会招集権者の順位について 3) 名誉会長の選任について 4) 業務執行理事の選定について 原案通り承認
第114回	令和3年6月15日(火)	1) 令和3・4年度 執行体制について 2) 令和3・4年度 理事会等の運営について 3) 令和3・4年度 委員会基本方針について 4) 専務理事の報酬月額について 5) 有識者理事との利益相反取引について 6) 会費の減免について 7) 入会の承認について 原案通り承認

第115回	令和3年7月6日(火)	1) 入会の承認について 2) 継続入会の承認について 3) 令和3・4年度 委員会委員の選任について 4) 令和4年度 東京都予算要望 ビルメンテナンス業関係施策について 原案通り承認
第116回	令和3年9月7日(火)	1) 理事職務の継続について 原案通り承認
第117回	令和3年11月2日(火)	1) 入会の承認について 2) 令和4年度 予算編成方針について 3) ビルメンテナンスフェア実行委員会の設置について 4) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認
第118回	令和4年1月12日(水)	1) 入会の承認について 2) 表彰及び感謝状に関する規則の一部改正について 3) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認
第119回	令和4年3月1日(火)	1) 入会の承認について 2) 令和4年度 事業計画(案)について 3) 令和4年度 予算(案)について 4) 令和4年度 資金調達及び設備投資の見込みについて 5) 諸規程等の制定及び改正について その1 定款施行規則の一部改正 その2 理事会による役員候補者の推薦に関する規程の一部改正 その3 会員の入退会、倫理等に関する規則の一部改正 その4 事務局職員育児・介護休業等に関する規則の制定 その5 入会等に関する細則の一部改正 その6 事務局職員給与規程 基本給表の一部改正 その7 経理規則の一部改正 6) 第12回定時総会の招集について 原案通り承認

2 三役会・委員会等

会 議 名	開催回数	開 催 日
1 三役会	10回	4/6、5/11、6/7、7/6、9/7、 11/2、12/7、1/12、2/1、3/1
2 総務委員会	11回	4/21、5/26、6/23、8/25、9/28、 10/20、11/18、12/15、1/21、2/17、3/16
3 財務委員会	3回	4/20、10/25、1/26
4 労務管理委員会	2回	7/9、12/9
(ア) 労働条件小委員会	9回	4/7、5/13、7/19、8/5、10/13、 11/9、1/14、2/25、3/18
(イ) 労災収支改善小委員会	10回	5/24、6/25、7/27、8/24、9/22、10/27、 11/19、1/27、2/21、3/25
5 厚生委員会	2回	7/26、12/13
6 経営研究委員会	2回	8/31、12/23
7 広報委員会	6回	4/9、7/8、10/7、11/10、12/10、2/9
8 建築物衛生管理委員会	1回	12/7
(ア) 教育研修小委員会	0回	
(イ) 調査研究小委員会	8回	4/20、5/27、6/23、7/28、9/14、 10/11、11/19、1/25
(ウ) 貯水槽管理専門委員会	0回	
9 警備防災委員会	1回	12/15
(ア) 調査研究小委員会	1回	11/29
(イ) 研修企画小委員会	2回	6/17、11/25
(ウ) 教育研修小委員会	1回	11/16
10 建築物施設保全委員会	2回	12/8、3/25
(ア) 技術専門委員会	3回	4/15、9/8、10/26
(イ) 品質向上専門委員会	7回	4/19、6/21、9/14、10/12、11/9、 1/25、2/18
(ウ) 教育研修専門委員会	3回	9/27、10/28、12/20
11 役員立候補者資格等審査委員会	2回	4/12、3/28
12 倫理委員会	0回	
13 障がい者等自立支援委員会	3回	7/27、11/18、3/18
14 60周年記念実行委員会 記念誌制作分科会	8回	4/9、5/10、7/8、9/15、10/7、 11/10、12/10、2/9
15 監査	2回	4/22、10/27
16 東京地区選出全協代議員会議	1回	7/13
合 計	100回	

(参考) 東京地区本部に係る事業等の実績 (令和3年度)

1 他地区本部との合同研修会の開催

東京地区本部と関東甲信越地区本部の合同研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度も中止した。

2 ビルクリーニング技能競技会東京大会の開催

第17回ビルクリーニング技能競技会東京大会を開催し、上位2名を東京地区代表として推薦した。

○開催日：令和3年5月21日(金)

○参加数：17名

○結果：金賞 株式会社第一ビルメンテナンス 鹿島 勇太 氏
銀賞 株式会社小田急ビルサービス 生田 悠人 氏
銅賞 太平ビルサービス株式会社 中村 駿一 氏